

ペットの“関節のサポーター”カツオエラスチン



■ ペットの変形性膝関節症(OA)

変形性膝関節症は加齢や運動時の**靭帯の損傷**などによって、**関節軟骨が変性・破壊された結果**、**痛みが生じる疾患**です。
痛みによるストレスや肥満などにもつながることから、**他の病気の原因となることも・・・**



— 犬 —

5頭中1頭がOAを発症していると推定されている。
日本大学動物病院に来院した10歳以上の犬の**50.7%が隠れOA**だった。
(参考：高齢動物で増加している運動器疾患の健康維持プログラム <https://www.qix.co.jp/posts/129>)

— 猫 —

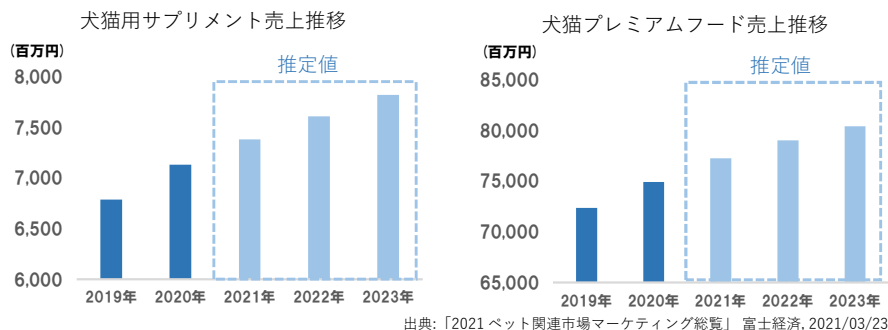
6歳以上の61%、14歳以上の82%でOAが見つかった。
(出展：Slingerland LI, et al. Vet J. 187: 304-309, 2011)

OAの多くは**見落とされており**、**気づいた時には重症化していることがほとんど!**
特に、**中高齢での発症が多い**ため、

“靭帯成分”カツオエラスチンで若年齢から対策!

■ ペットの健康市場

ペットの**サプリメント市場**と**プレミアムフード市場**は**拡大傾向!**



ペットの飼い主247名を対象とした「健康に配慮したペットフードの利用状況」の調査では**シニア向けのフード、健康サポート効果のあるものを4人に1人以上の飼い主が利用経験のあり!**

出典：意識調査 Fromプランネット Vol.116 https://www.planet-van.co.jp/shiru/from_planet/vol116.html

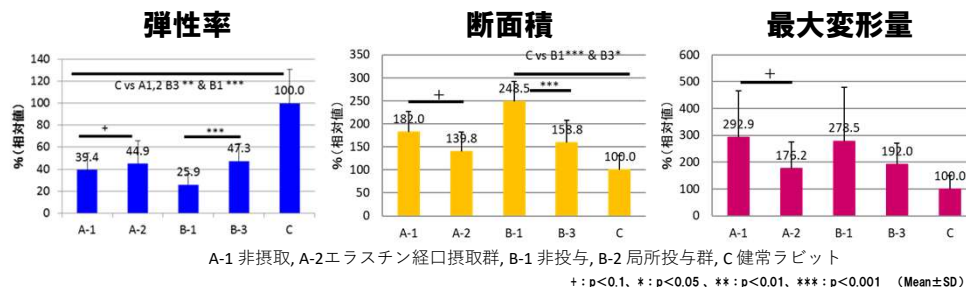
ペットの健康に配慮したペットフード商品への**需要 増大**

■ エラスチンの靭帯への効果

靭帯損傷モデルラビットへの8週間のカツオエラスチン(125mg/kg/day)経口摂取、または関与成分Pro-Glyの局所投与

出典：グルコサミン研究, 11, 39-45, 2015

損傷靭帯の状態について (100%に近いと改善)



カツオエラスチン経口摂取によって、**上記の全てが改善傾向あり!**
Pro-Glyの局所投与によって、**弾性率と断面積が有意に改善!**

カツオエラスチンは損傷靭帯の機能を正常な状態に修復することで、**正常な靭帯を維持し、ペットのOAを予防することが期待できる!**

■ エラスチンとは

美容と健康に貢献する“弾力成分”
全身の臓器に広く分布し、組織に弾力性を与える
ヒトの**項靭帯では80~90%がエラスチン線維**で構成されている!
エラスチンは靭帯の機能維持に**必要不可欠!**



**“靭帯成分”カツオエラスチンで
ペットの関節ケアはいかがでしょう?**



エラスチン：肌・血管・膝・バスト・肺



ヒシエキス：抗糖化・肌・血糖値・頻尿・毛髪



アスコフィランHS：肺炎・免疫・血糖値・口臭

お問合せ・サンプル依頼
林兼産業株式会社
機能食品販売課
(本社) TEL: 083-267-1837
(東京) TEL: 03-5640-1651
E-mail: kinou_info@hayashikane.co.jp



(資料：2201-1)